

自動運転の取り組みについて

令和7年3月10日（月）
政策創造課MaaS推進室



自動運転サービスの社会実装に向けた取組

ドライバーの高齢化や人手不足が見込まれる中、**持続可能な交通サービスを目指して自動運転の取組を開始**
令和元年度から自動運転の技術検証、社会受容性醸成、将来的な自動運転サービスの事業化のための事業性の検討などを目的とした実証実験を実施してきた

大山田団地でのバス路線維持を想定した
実証実験を実施



ナガシマスパーランド駐車場において、運行管制
システムと連携した自動運転の実証実験を実施



令和元年度

令和2年度

令和3年度

令和4年度

令和5年度

桑名市役所⇄桑名駅のルートにて県内
で初めて自動運転の実証実験を実施



桑名駅⇄柿安コミュニティパークのルートにて、自動
運転とVR観光を組み合わせた実証実験を実施



ナガシマスパーランド駐車場⇄なばなの
里間7.5kmの公道ルートにて実証実
験を実施



自動運転サービスの実現に向けた検討

令和6年度自動運転実証実験 概要

概要

将来的に既存の民間バス路線で運行することを想定し、近鉄長島駅まで路線を延長したルートにて、**2025年度中のレベル4の許認可取得に向けた走行環境リスクアセスメント**の更新と、更なるルート課題の抽出・検証を目的とした**レベル2の実証実験**

■実施期間

試験走行：令和7年1月7日～1月27日

試乗走行：令和7年1月28日～1月31日

■試乗参加人数

延べ**395名**

車両



ティアフォー「Minibus」を採用



車内の様子

車名	Minibus
車両	ティアフォー製小型電気バス
大きさ	L7,190×W2,300×H3,050
車両重量	6,690kg
乗車定員	25名（座席15名、運転席1名、立ち席9名）

走行ルート

距離：片道約12.5km（所要時間：33分）

停留所

往路：長島駅、なばなの里、湯あみの島、ナガシマスパーランド

復路：ナガシマスパーランド、ナガシマファーム、なばなの里、長島駅



L4申請
予定区間

今後の方向性

~2023

Step
01

事業モデルの検討

- レベル2 自動運転を活用した社会受容性の醸成と技術検証
- レベル4 自動運転移動サービスを実装するための事業モデルを検討
- 様々なユースケースにて実証実験を実施

2024

Step
02

レベル4 許認可に向けた調整

- レベル4 の走行環境条件付与に向けた車両、ODDの検討
- 将来的に事業化する路線において走行実証を実施（Minibus 1 台の運行）
- 事業性の向上に向けた課題の整理

2025

Step
03

レベル4 許認可の取得

- レベル4 自動運転移動サービスを実施するための車両を購入
- 車両の自動運行装置（レベル4）の認可手続き
- 特定自動運行の許可手続き

2026~

Step
04

持続可能な運行へ

- レベル4 自動運転を含む路線での定常運行の開始
- 運行に必要な人員の省人化検討
- 事業性の確保に向けたビジネスモデル構築
- 他地域への横展開の検討

長期課題

事業性のある移動サービスに向けて

- どのように省人化を図るか
- 運行コストと収入のバランス
- 当面（車両の減価償却期間）の事業維持

今後の方向性

自動運転の導入により、公共交通のみならず地域社会における諸課題の解決を期待

地域社会の課題

- ・人口減少社会における人材不足
- ・D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- ・異業種間の共創による地域活性化
- ・環境負荷低減

公共交通の課題

- ・バス運転士の成り手不足
- ・地方都市における利用者減少
- ・人件費、燃料費などの運行経費高騰

レベル4 自動運転移動サービスの実現

期待される効果

- ・労働人口が減少する中でも**効率的にサービスを持続させる仕組みを構築**
- ・公共交通と地域の異業種が連携することで**自動運転ならではの新たなビジネスモデルを構築**
- ・渋滞の緩和による**環境負荷低減**
- ・自動運転を契機とし、**デジタル技術を活用したサービスの導入による住民のウェルビーイング実現**

持続可能な交通ネットワークを構築し、誰もが移動に困らない社会を実現